

2010 年 軽種馬生産技術総合研修センター利用実績

2010 年 12 月 31 日
社団法人 日本軽種馬協会
静岡種馬場

《専門技術者研修（診療技術）》

運動器疾患の画像診断技術に関する研修

1 月 1 6 日

講 師：三角一浩（鹿児島大学 教授）

参加者：獣医師 44 名

内 容：講演 「運動器疾患の画像診断」

実技研修 症例馬、超音波診断装置をもちいての画像描写

海外での馬診療技術研修

1 月 3 0 日～2 月 8 日

場 所：米国 ケンタッキー州 Hagyard 馬診療所

参加者：日高軽種馬農協 獣医師 敷地光盛

日高地区農業共済組合 獣医師 扇谷 学

内 容：海外の馬診療所、近隣牧場での診療技術見学

《専門技術者研修（護蹄関係）》

海外護蹄最新情報症例検討会（日本装蹄師会委託）

2 月 3 日

講 師：Dr. Morrison、 Mr. King（米国 ルード&リドル診療所）
桑野睦敏（J R A）

場 所：総合研修センター

参集者：装蹄師 32 名

内 容：症例実馬による実技研修

教材の整備

海外教本翻訳、配布

原著：Simon Curtis 著「Farriery / Foal to Racehorse」
和名「装蹄 — 幼駒から競走馬」

翻訳：小木曾薫子

監訳：青木 修 日本装蹄師会

発刊部数：1,200 冊

配布：地元装蹄師会、関係団体

《専門技術者研修（栄養関係）》

海外栄養指導研修旅行報告会

1月26日

参集者：カウンターパート、関係団体職員

場 所：研修所 講義室

内 容：ケンタッキー研修（平成21年10月5日～9日）の報告会

海外招聘技術指導者による牧場巡回指導

2月12日～15日

講 師：Dr. Brown-Douglas、Mr. Decker（KER）

参集者：カウンターパート（第2期生）等 12名～

巡回牧場：日高管内 7牧場

2月16日

第2期 カウンターパート 終了式

場 所：研修所 講義室

参列者：第1期、2期カウンターパート

KER 3名 JBBA副会長 他

《一般技術者研修》

海外護蹄最新情報研修会（日本装蹄師会委託）

2月2日

講 師：Dr. Morrison、Mr. King（米国 ルード&リドル診療所）

場 所：静内ウエリントンホテル

参加者：牧場関係者 他 141名

内 容：演題「知っておきたい蹄のトラブルとその対策」

一般向け護蹄技術研修会（日本装蹄師会委託）

3月24日

講 師：森 達也、（日装）田中弘祐（JBBA）

地元装蹄師（実技指導）

場 所：JRA日高育成牧場

参加者：牧場関係者 13名

内 容：講演 牧場関係者にも知ってもらいたい護蹄の知識

実技 牧場関係者でも実施してほしい削蹄技術の実習

日高軽種馬女性ネットワーク生産技術研修会（日高軽種馬女性ネットワーク主催）

3月10日

講師：仙波裕之

場所：研修所 講義室

参加者：日高軽種馬女性ネットワーク会員等 約50名

内容：講演「仔馬の病気について」

教材の整備

フットケアガイドライン教本の刊行（日本装蹄師会委託）

「“強いウマづくり”のためのフットケア・ガイド」

編集委員：武田英二（日高装蹄師会）

菅谷清史（ノーザンファーム）

吉原英留（JRA競走馬総合研究所）

田中弘祐（JBBA）

富山拓磨、青木修、吉田光平（日本装蹄師会）

執筆：編集委員での分担

発行部数：3,000冊

配布：地元装蹄師会、関係団体、生産牧場

軽種馬経営技術指導者養成・技術普及事業

(平成22年4月～平成22年12月 (～平成23年3月予定))

《肢蹄管理技術研修》

【専門技術者研修】(装削蹄技術研修)

仔馬の肢蹄異常および装削蹄療法に関する実態調査

仔馬の肢蹄異常に関する実態調査

1月～10月 およそ3週間間隔

管内4牧場での定期的巡回調査

対象A牧場 (19頭 13回 延192頭)

B牧場 (10頭 12回 延102頭)

C牧場 (14頭 13回 延150頭)

D牧場 (9頭 12回 延 98頭)

4牧場 52頭 延542頭

装削蹄療法に関する実態調査 随時実施

装蹄師認定講習生 生産地研修 (日本装蹄師会主催)

7月22日

講演：「幼駒の肢蹄異常と護蹄管理」

講師：田中弘祐

場所：総合研修センター 研修室

参加者：装蹄教育センター 平成22年講習生 8名 職員2名

海外視察研修の報告

米国ケンタッキーでの視察研修 (平成21年11月14日～19日) の報告

10月26日

日高装蹄師会研修会 (日高装蹄師会主催)

講演：「ケンタッキーの肢蹄管理事情」

講師：田中弘祐

場所：北海道市場 (静内神森)

参加者：日高装蹄師会 会員 約30名

誌面報告

「米国ケンタッキー見聞録 Part 1, 2」

日本装蹄師会「蹄 (ひづめ)」に掲載

No. 231、No. 232 (2010、6月、9月)

海外の最新技術等に係る研修（日本装蹄師会委託）

11月24日

「幼駒から繁殖まで、競走馬の生涯にわたるフットケア」

— 実馬を用いた蹄病への装削蹄検討会 —

講師：Mr. Simon Curtis 英国 装蹄師

「Farriery / Foal to Racehorse」の著者

場所：JRA日高育成牧場

参加者：装蹄師 他 41名

第52回競走馬に関する調査研究発表会（日本中央競馬会 主催）

11月29日

装削蹄療法に関する実態調査の結果の公表

演題：「1歳馬狭窄蹄へのHinge Spring Shoeの応用と結果」

場所：東京大学 弥生講堂

発表者：田中弘祐

第1回リム&フットケア・ワークショップ

平成23年1月27日（予定）

内容：肢蹄管理に関する症例検討会

場所：研修所 講義室

参加者：装蹄師 他 30名程度

【牧場関係者研修】（日本装蹄師会委託）

11月23日（日本装蹄師会委託）

「幼駒から繁殖まで、競走馬の生涯にわたるフットケア」

— 馬管理者に必要な蹄の見方と護蹄の知識 —

講師：Mr. Simon Curtis 英国 装蹄師

場所：静内ウエリントンホテル

参加者：牧場関係者 等 153名

平成23年2月16日、17日（予定）（日本装蹄師会委託）

本事業刊行物「フットケア・ガイド」を用いた研修

講師：（日本装蹄師会）

場所：日高 新冠町 レ・コード館（16日）

胆振 J B B A胆振種馬場（17日）

参加者：牧場関係者 等

≪健康管理技術研修≫

【専門技術者研修】(獣医診療技術研修)

講師による診療技術研修会

9月22日

「超音波診断装置による馬胎子の検査技術について」

— 3D超音波診断装置を用いての馬胎子の形態的検査技術 —

講師：南保泰雄 村瀬晴崇 (JRA 日高育成牧場)

場所：総合研修センター

参加者：獣医師 43名

※ 「生産地疾病等調査研究」で実施している技術の研修

11月17日

軽種馬生産における臨床獣医師のための繁殖学研修

演題：「急性および慢性子宮内膜炎の診断、治療、予防」(Dr. Liu)

「牡馬の繁殖能力の診断方法」(Dr. Ball)

講師：Irwin K. Liu(カリフォルニア大学、獣医繁殖学教授)

Barry A. Ball (ケンタッキー大学、Gluck 馬研究所)

場所：新冠町 レ・コード館

参加者：獣医師 60名

※ 両講師はJRAが研究事業の為に日本へ招聘した。

12月3日

骨折固定術の症例検討会および手術実習会

講師：Dr. Richardson 米国ペンシルバニア大学

ニューボルトンセンター 馬外科主任

場所：研修所 講義室、総合研修センター

参加者：獣医師 29名

内容：参加者提示の症例に、講師からアドバイスを受ける。

解剖肢、模型での骨折固定の実技研修

主催：日本ウマ科学会馬臨床獣医師ワーキンググループ

共催・協賛：日本軽種馬協会、日高獣医師会、胆振獣医師会

海外での馬診療技術研修

海外の馬診療技術シンポジウム参加

今年度から廃止

海外の馬診療所での実技研修

今年度から希望者申請、必要性に応じて実施

今年度は該当者なし。

診療技術の自己研鑽研修

実習馬による診療技術の自己研鑽研修

骨折固定手術 (死亡馬の肢を使用)	1月5日、1月6日、4月11日	HBA獣医師	1名×3回
四肢の超音波診断	1月28日 9月18日	HBA、BTC獣医師 HBA獣医師	10名 2名
吊起帯を用いた麻酔覚醒技術	4月9日 4月13日	HBA、JBBA獣医師 HBA、JBBA獣医師	6名 6名
腸管手術でのリガシュアー(止血機器)使用 (HBA調達実習馬)	5月12日	HBA、JBBA獣医師	5名
腹腔鏡による繁殖障害検査 (症例馬)	12月14日	開業獣医師、HBA	12名

一般症例での診療技術研修

おもな診療施設・設備	利用実績	1月～12月末	
		平成21年	平成22年
処置実習室(搬入頭数)		535件	815件
倒馬・覚醒室		151件	168件
手術実習室		115件	140件
馬房(入院)		19件	19件
	(延べ)	82日	76日)
CR現像		178件	152件
レントゲン撮影		236件	263件
超音波診断装置		49件	54件
内視鏡		59件	49件
トレッドミル		2件	2件
ショックウェーブ		256件	537件
吸入麻酔		135件	150件
関節鏡手術		71件	65件
腸管手術		22件	24件

【牧場関係者研修】

12月2日

骨折治療に関する講演会

講演：「今、馬の骨折はどこまで治せるのか」

講師：Dr. Richardson 米国ペンシルバニア大学

場所：静岡ウエリントンホテル

参加者：牧場関係者 等 137名

主催：日高獣医師会

共催・協賛：日本ウマ科学会馬臨床獣医師ワーキンググループ
日本軽種馬協会（JBBA）・胆振獣医師会

11月4日

子馬・若馬の飼養技術に関する講演会（於 東北支部）

演題：「子馬の肢蹄管理」

「DOD（発育期整形外科疾患）の発生状況」

場所：青森県十和田市 サンロイヤルとわだ

講師：田中 弘祐 仙波 裕之

参加者：牧場関係者 他 34名

《栄養管理等研修》

【専門技術者研修】（栄養管理等技術研修）

10月15日、12月24日

牧場巡回指導に係る打合せ検討会

平成23年1月7日

軽種馬栄養管理ソフト「True Thoroughbred Basics (TTB)」の飼料標準値データの調整について検討する。

平成23年2月（予定）

TTB使用研修会

【巡回指導】

平成22年（平成21年4月～12月）は、未実施

平成23年度 実施対象牧場 選定中

《データベース》

【肢蹄管理技術関係】

子馬の肢蹄異常に関するデータ

《肢蹄管理技術研修》「仔馬の肢蹄異常および装削蹄療法に関する実態調査」で得られたデータを整理・分析

【健康管理技術関係】

市場レポジトリーのレントゲン画像の分析

平成19年～21年のレントゲン画像データに、その後の競走成績データを加えて分析

診療カルテ（NOSA I 日高）からDODに関する診療のデータの収集

平成18年～20年のデータに平成21年のデータを追加して分析

【栄養管理技術関係】

体重・体高等のデータの収集

体重計を貸し付けている牧場等から得られるデータを収集

標準発育曲線を作成・公開

演題；「サラブレッドの季節代償性発育およびトレーニング負荷を考慮できる新たな標準発育曲線」

小野田智昭（京都大学）他 栄養管理研修担当者・カウンターパート

11月30日 日本ウマ科学会 第23回学術集会（東京大学）